

自主防災会 初動活動マニュアル

携帯版



大和市イベントキャラクターヤマトン

大和市
2025.03

地震発生



■とにかく身を守る

- 落下物等から頭や身体を守る。
<慌てて外に飛び出さない>
①テーブルや机の下に隠れる。
②座布団や雑誌などで頭を保護する。
③家具や窓ガラスから離れる。

■揺れがおさまったら

- ①すばやく火の始末をする。
②ドアや窓を開け、逃げ道を確保。
③家族の安全確認・確保をする。
④足を守るための履き物をはく。
⑤家屋倒壊の恐れがあれば避難する
⑦余震に注意する。
⑧ガスの元栓を切る、避難する場合は電気のブレーカーを切る。

■正しい情報を収集

テレビやラジオ等で正しい情報を収集。

1 自主防災会本部に集合

平時に指定した参集基準に基づき、参集場所（一時避難場所など）へ集合する。

参集基準

参集場所

【参集時に装着する主なもの】

- ①長袖 ②長ズボン ③ヘルメット
④動きやすい靴 ⑤手袋
⑥非常持ち出し袋 など

2 自主防災会本部の設置

■本部環境を整える

テントを組み立て、長机や椅子を配置するなど、本部の作業環境を整える。夜間の場合は投光器を設置。

■地域住民の協力の呼び掛け

多くの人員が必要とされるため、役員だけでなく、地域住民にも協力を求める。

■本部の設置

本部長は、役員がある程度集合したら、自主防災会本部を設置する。

【主な資機材】

- ①テント ②長机・椅子 ③地図
④筆記用具 ⑤無線機（トランシーバー）
⑥投光器 ⑦発電機 など

3 本部長（会長）からの指示

■防災直後は、災害に対する恐怖感やさまざまな混乱の発生により、情報が錯綜する。このことから、何よりも正しい状況を把握することが求められる。また、活動には多くの人員が必要とされることから、一般の住民の協力が必要。

<本部長指示 例>

- まずは落ち着いて、大きな声で！
(1) 情報班は、市本部からの情報収集にあってください！
(2) 消火班は、消火資機材の準備を行ってください！ など

■支援要請への対応

情報班や地域住民などから様々な支援要請がくる。本部長は、これに対して各活動班に出動を指示する。

■班体制

各活動班をグループに分けるよう指示。役員はグループリーダーに就き、協力してくれる地域住民などで構成するグループメンバーを指揮。
※ 避難生活施設運営委員会の構成員に加わっている役員は、並行して当該施設に移動し、避難生活施設の開設準備を行なう。

■報告・指示の記録

各活動班からの報告とそれに対する本部長からの指示は、班長等が記録を残しながら行う。

■地図への書き込み

被災現場等の情報は全体地図に書き込み、一元管理をする。

4 情報班



■大和市からの情報を収集

- ①～⑤などのツールを使用して情報収集を行う。確認した情報を本部長に報告する。
①防災行政無線
②防災ラジオ（FMやまと（77.7MHz））
③市ホームページ
④大和市公式LINE
⑤ヤマトSOS支援アプリ
⑥避難所等混雑状況表示システム
※VACAN（バカン）⇒
など

■被害状況の調査

- ①エリア別に担当グループを割り振り、被害状況を調査する。
②各委員や一時避難場所に集まった住民に被害情報を把握していないか確認する。



■地域住民への広報

大和市からの情報や被害状況について、広報用掲示板を設置したり、ハンドマイクなどで呼び掛けたりする。

【主な資機材】

- ①ラジオ ②拡声器・メガホン
③無線機（トランシーバー）
④懐中電灯
⑤ポータブル電源（スマホ充電用）など

【重要！】

発信、伝達する情報は、公的機関等、確実な発信元からの情報のみとし、不確実な情報やデマなどに惑わされないよう注意すること

5 消火班



■資機材の準備

- ①水（消火用）
風呂水等、利用可能なため水の確認を行う。
②消火器、バケツ
住民に各家庭などに備えている物を持ち寄るよう呼び掛ける。
③スタンドパイプ消火資機材
各自自主防災会に配布した物を準備。

■消火栓位置の確認

スタンドパイプ消火資機材と接続可能な消火栓を確認する。

■消火・延焼防止活動

バケツリレーや消火器、スタンドパイプ消火資機材などによる消火を行う。裏面へ→

